

試合番号 : 162		試合会場 : 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館				観客数 : 700	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:46		試合時間 : 01:46		主審 : 服部 篤史	
副審 : 慈眼 雅啓		FC東京		堺ブレイザーズ		通算 10勝 3敗	
通算 ポイント : 15		4勝 9敗		25 第1セット 17		通算 ポイント : 29	
監督コメント	スタートからアグレッシブにプレーしたことで流れを持っていくことができました。難しい場面も沢山ありましたが、ホームのパワーのおかげで乗り越えることができました。明日は、更に厳しい試合になりますが、ファンの皆さんとともに勝利を得られるようにしっかりと準備をしたいと思います。本日はありがとうございました。明日も応援よろしくお願いいたします。		3	25 第2セット 20		1	監督コメント FC東京の勢いと、アウェイの洗礼を受け敗戦してしまいました。難しい試合の中でも自分たちのバレーを貫き、相手に対応しながら戦っていかねば、今年のリーグを制することは難しいと思います。修正点を明確にし、明日こそは勝利を掴みたいと思います。本日も応援ありがとうございます。
	25 第3セット 25						
	25 第4セット 19						
	第5セット						
要約レポート ホームゲームで勝利を手にしたFC東京と、目下首位を走る堺ブレイザーズの対戦。第1セット、FC東京は先遣からスターティングメンバーとして出場しているセッター玉宅が難きを放つ。トスを上手く散らし、全方位から攻撃を組み立て、長身を活かしたブロックで3得点をあげ活躍した。長友のコート陣を迫るスパイクも連続で決まり、第1セットはFC東京が終盤優位に試合を運んだ。第2セット、前セットの勢いそのままFC東京が序盤からリードする。リベロ古賀を中心に守備の意識が高く、特にブロックフォローが素晴らしい、ブロックを粘り強くレシーブして繋いでいく。なかなかリズムを掴めない堺はベテランの松本、今期新加入のバーノンがスパイクを決めるも、FC東京の勢いを止めることはできなかった。第3セット、背水の陣の堺はスタートから樋口を起用。見事期待に応えるスパイク、ブロックで得点を量産し救世主となる。それに触発されるようにバーノンも圧倒的高さを活かしたスパイクを決める。完全に息を吹き返した堺は圧倒的な攻撃力でFC東京を突き放し、最後は出未田のブロックでセットを取り返した。第4セット、ここで勝負を決めたFC東京は、新加入のクワアレンが好調。速いトス、高いオーブントスをレフトから左利きで器用に打ちこなす。同じく新加入のエスポは勝負強さとパワーで、ここぞという時にスパイクを決める。対する堺はメンバーを入れ替え流れを変えようとするも、FC東京のクワアレンが立て続けにブロックを決め、FC東京は首位から勝利をもぎとり、ホームゲームで連敗を止めた。							
試合番号 : 163		試合会場 : 三島市民体育館				観客数 : 600	
開始時間 : 12:00		終了時間 : 14:10		試合時間 : 02:10		主審 : 村中 伸	
副審 : 岡田 崇		東レアローズ		パナソニックパンサーズ		通算 8勝 5敗	
通算 ポイント : 32		10勝 3敗		25 第1セット 21		通算 ポイント : 25	
監督コメント	コロナ禍の中、三島のホームゲームにたくさんの皆さんにお越しいただき、本当にありがとうございます。非常にタフな試合となりましたが、皆さんの応援が最後の1点を取らせてくれたと思っています。勝利したとはいえ、まだまだ課題の残るところがありますので、しっかり修正して明日に備えたいと思います。本日は、たくさんの応援ありがとうございます。		3	23 第2セット 25		1	監督コメント タフな試合でしたが、最後まで戦いました。東レはブロックとサーブでプレッシャーを与えてきました。東レは非常にタフな相手なので、選手は最後まで粘り強く戦ったことを誇りに思います。明日勝利するため、解決策をしっかりと探して挑みたいと思います。
	29 第3セット 27						
	27 第4セット 25						
	第5セット						
要約レポート 三島のホームゲームで6連勝とした東レアローズと、2連勝中勢のあるパナソニックパンサーズの対戦。第1セット、東レは高橋の2連続ブロック、米山のサービスエースでリードし、序盤の勢いそのまま、パタルのスパイクとサーブで攻め切り、セットを先取した。第2セット、パナソニックは山内、小宮のブロックで得点を重ねてリードを詰め、終盤の攻め合いを制しセットを取り返した。第3セット、東レ、パタルが相手のブロックやコースをついた攻撃で序盤の流れをつくる。終盤、手塚のサーブを起点とし、富田の鋭いスパイクで得点を重ねた東レがセットを取り、セットカウントを2-1とした。第4セット、前セットの勢いそのまま互いに譲らず接戦となったが、終盤、富田のサーブ、スパイクで東レが熱戦を制した。							
試合番号 : 164		試合会場 : カミアリーナ (島根県立浜山体育館)				観客数 : 960	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:22		試合時間 : 01:22		主審 : 千代延 靖夫	
副審 : 弘中 秀治		JTサンダース広島		VC長野トライデンツ		通算 0勝 13敗	
通算 ポイント : 19		6勝 7敗		25 第1セット 19		通算 ポイント : 0	
監督コメント	出雲市のホームゲーム、たくさんのご声援をいただき、勝利することができました。ありがとうございます。セットの出しに少し固さが見られましたが、自分の役割を果たすことでリズムに乗れたと思います。明日もサーブ、パスを中心に、攻めて戦いたいと思います。ご声援よろしくお願いいたします。		3	25 第2セット 15		0	監督コメント このコロナ禍の中、大会の開催にご協力をいただいている全ての皆様に厚く御礼申し上げます。今週のJT広島戦に向け、一週間準備を行い試合に挑みました。第1セットの中盤までは、対策通りに試合を進めることができましたが、終盤で自分たちのミスが重なり、セットを取り切ることができませんでした。明日は、今日出た課題を修正し、セットを取り切り、試合に勝利できるよう、準備して挑みたいと思います。本日は沢山の応援ありがとうございます。明日も応援よろしくお願いいたします。
	25 第3セット 16						
	第4セット						
	第5セット						
要約レポート 全国の八百万の神が集まる出雲を舞台に、ホームゲームで確実に勝利したいJTサンダース広島と、まずは1勝して波に乗りたいVC長野トライデンツの一戦。第1セット、VC長野は森崎の攻撃で好スタートを切った。対するJT広島はエドガー、小野寺、新井の攻撃で得点を重ねる。序盤はVC長野が池田(幸)、リヴァンのブロックで5点リードする展開。しかし、JT広島は小野寺のブロックから流れをつかむと12-12で追いつく。VC長野はリヴァンの攻撃で応戦するが、JT広島はエドガー、小野寺、山本の攻撃から得点を重ね、そのままの勢いでJT広島がセットを先取した。第2セット、スタートからJT広島が小野寺の攻撃とブロックでリードする。VC長野は笠原の攻撃、サービスエースで流れを切り反撃する。JT広島は金子の多彩なトスからエドガー、新井の攻撃で得点を重ね、最後は中盤から選手交代で入った武智がスパイクを決め、JT広島がセットを連取した。第3セット、立ち上がりからJT広島が小野寺、エドガーの攻撃に加え、新井の技ありスパイクでリードする。VC長野は矢貫の攻撃、池田(颯)のサービスエース、中村(竜)のブロックで得点を重ねて粘るが、JT広島の勢いは止まらず、エドガーのバックアタックや新井のサービスエースでVC長野を引き離し、JT広島が勝利した。							
試合番号 : 165		試合会場 : 熊本県立総合体育館				観客数 : 1,850	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:40		試合時間 : 02:40		主審 : 木内 誠二	
副審 : 林 淳一		サントリーサンパーズ		大分三好ヴァイセアドラー		通算 2勝 11敗	
通算 ポイント : 23		9勝 4敗		25 第1セット 20		通算 ポイント : 6	
監督コメント	出雲市のホームゲーム、たくさんのご声援をいただき、勝利することができました。ありがとうございます。セットの出しに少し固さが見られましたが、自分の役割を果たすことでリズムに乗れたと思います。明日もサーブ、パスを中心に、攻めて戦いたいと思います。ご声援よろしくお願いいたします。		3	25 第2セット 27		2	監督コメント このコロナ禍の中、大会の開催にご協力をいただいている全ての皆様に厚く御礼申し上げます。今週のJT広島戦に向け、一週間準備を行い試合に挑みました。第1セットの中盤までは、対策通りに試合を進めることができましたが、終盤で自分たちのミスが重なり、セットを取り切ることができませんでした。明日は、今日出た課題を修正し、セットを取り切り、試合に勝利できるよう、準備して挑みたいと思います。本日は沢山の応援ありがとうございます。明日も応援よろしくお願いいたします。
	25 第3セット 27						
	25 第4セット 18						
	15 第5セット 12						
要約レポート 全国の八百万の神が集まる出雲を舞台に、ホームゲームで確実に勝利したいJTサンダース広島と、まずは1勝して波に乗りたいVC長野トライデンツの一戦。第1セット、VC長野は森崎の攻撃で好スタートを切った。対するJT広島はエドガー、小野寺、新井の攻撃で得点を重ねる。序盤はVC長野が池田(幸)、リヴァンのブロックで5点リードする展開。しかし、JT広島は小野寺のブロックから流れをつかむと12-12で追いつく。VC長野はリヴァンの攻撃で応戦するが、JT広島はエドガー、小野寺、山本の攻撃から得点を重ね、そのままの勢いでJT広島がセットを先取した。第2セット、スタートからJT広島が小野寺の攻撃とブロックでリードする。VC長野は笠原の攻撃、サービスエースで流れを切り反撃する。JT広島は金子の多彩なトスからエドガー、新井の攻撃で得点を重ね、最後は中盤から選手交代で入った武智がスパイクを決め、JT広島がセットを連取した。第3セット、立ち上がりからJT広島が小野寺、エドガーの攻撃に加え、新井の技ありスパイクでリードする。VC長野は矢貫の攻撃、池田(颯)のサービスエース、中村(竜)のブロックで得点を重ねて粘るが、JT広島の勢いは止まらず、エドガーのバックアタックや新井のサービスエースでVC長野を引き離し、JT広島が勝利した。							